

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-2																							
PDCA	主要事業名	ごみ収集運搬委託事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	井戸 23-3567																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策： 循環型社会 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 333,495 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.02.02.02.51					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																							
	事業概要等		事業概要： 市内ごみステーションを4地区に分け、一般家庭から排出されたごみ（燃やせるごみ・燃やせないごみ）及び資源（ペットボトル）の収集運搬を委託により実施する。 事業目的： 市民の生活環境及び公衆衛生の向上を図る。 事業内容： 市内ごみステーションに排出された家庭ごみ（燃やせるごみ・燃やせないごみ）及び資源（ペットボトル）の収集運搬を委託により実施する。 問題点・課題等： 令和4年4月からごみ処理の広域化が開始したため、引き続き適正な積載による収集運搬等： 搬体制の確保が必要となる。																										
	予算額		主要事業とする理由																										
	333,495 千円		ごみの収集は市民の清潔な生活環境を確保するための基本的な事業であるため。																										
	財源内訳		得られる成果																										
	市費		適正なごみ収集により、家庭ごみ及び資源の適正処理、ごみステーションの清潔な環境を維持することができる。																										
	193,495 千円		目標値や目指すべき状態																										
	国費		ごみ収集を適正に実施する																										
	0 千円																												
	県費																												
0 千円																													
その他																													
140,000 千円																													
D 実績 得られた成果と	決算額		得られた成果																										
	333,089 千円		一般家庭から排出されたごみ及び資源（ペットボトル）の収集を適正に実施したことで、市民の生活環境及び公衆衛生の向上を図ることができた。																										
			成果指標																										
		ごみ収集を適正に実施する																											
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 令和4年4月から供用開始したごみ処理広域処理施設のルール等を把握し、ごみ及び資源（ペットボトル）の収集運搬を計画的に実施したことで、家庭ごみ及び資源の適正処理、ごみステーションの清潔な環境を維持することができた。また、自治区や住民からの要望に対し、迅速に対応することで、地域と連携した公衆衛生の向上を図ることができた。 不適正排出が行われているごみステーションについては、自治区や住民と調整しながら、看板などによる注意喚起のほか、防犯カメラを設置するなど、ごみステーション利用のマナー向上を啓発し、不適正排出の未然防止を図ることができた。 ごみステーションの管理に対する要望が従前から多く寄せられていることから、ごみ出しマナーの更なる啓発や収集の方策の検討などが課題となる。																										
			改善推進 ごみステーションの清潔な環境を維持するためには、住民の協力・マナー向上が不可欠であるため、要望に対しては、引き続き、迅速かつ誠実に対応し、地域との信頼構築に努める。一方で、ごみステーションの管理に係る課題に対しては、他市町の先進事例を調査し、コストや半田市の特性を加味するなかで、より良い方策を検討していく。																										
A 今後課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性																												
	観点別評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>余地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>			必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	必要性		有効性		効率性																								
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない																							
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地																									
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																								

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用